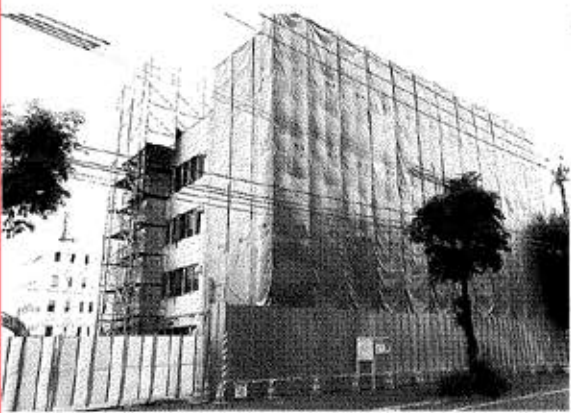


「グランファール桑園」今秋着工

日本グランデと土屋ホーム不動産 初の共同事業



既存建物の解体工事が進む建築地

マンションデパロックを建築する。建築地は中央区北10条西20丁目35-13他。

計画概要によると、同マンションは敷地面積1785・68㎡、建築面積588・65㎡、延床面積6271・52㎡。鉄筋コンクリート造、地上13階建、住戸数72戸。今年9月上旬の着工予定で、2020年3月中旬の竣工を目指す。

建物外観は欧州の美学を継承した美しいデザインとする計画。敷地内は外部からの侵入を防止するため欧州の城郭都市に習ったゲートコミュニティ構想を採用する。間取りは2LDKと4LDKで、世代や家族構成に応じて選択可能とし、カラーオーダーシステムにも対応する。

共用施設はキッチンスタジオアの付いたパティールームやシアタースタジオ、通信カラオケルーム、フィットネスジム、ベットのためのクルーミングルームのほか、屋上庭園のスカイパークやパーベキューコーナー

も設置する。

ランドエントランスは日常生活をサポートするコンシェルジュサービスのほか、外出先からスマートフォンで自宅の施錠やリモートコントロールなど防犯・緊急状態を把握できる最新のモバイルセキュリティを導入する。

初の共同プロジェクトについて両社は「日本グランデが培ったマンション削りのノウハウと、注文住宅のパイオニアである土屋グループの確かな技術力の融合」とPR。建築地周辺は文教施設や大型ショッピングセンターなども充実しており、「生活利便性の高い桑園エリアに新しいグランファールが誕生する」とアピールしている。

災害時に有効な石油機器のPR活動を

7月1日、JX NEXCO エネルギィから、石油連盟のPRや安定した需要開拓を目的に活動する業界団体、石油連盟北海道石油システムセンターへ出向、所長に就任した。

大学卒業後、共同石油で札幌、横浜、東京、福岡、名古屋の各支店で営業・販売計画などを担当した。前任は志布志石油の副所長兼総務課長。

入社早々に配属された札幌支店では、道東地方や小樽地区のガソリンスタンドを運営する特約店への営業を担当した。



横顔
HUMAN
2018

石油連盟 北海道石油システムセンター
所長 横田 雅幸 さん

「北海道は新入社員から4年間勤務した思い出が多い土地。現在も交流が続く友人もおり、再び戻ることができてうれし」と笑顔を見せる。

同センターは高効率型石油給油器「エコフィール」や、「セミセントラル暖房システム」を中心とした省エネで低コストの石油機器などを推進している。

セミセントラル暖房システムはストーブと温水暖房の2つのパナールを搭載し、FFストーブを利用した温水暖房システム。季節や寒さ、家族構成に応じ、ストーブ・温水暖房をそれぞれの単独運転や同時運転が可能。

「中古住宅市場でも低燃費で高断熱・高気密な物件が流通しており、リフォーム・リノベーションに適した石油燃焼機として使用例が増加している。2011年に発生した東日本大震災以降、自立